

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
期末配当受領株主確定日 毎年3月31日  
中間配当受領株主確定日 毎年9月30日  
定時株主総会 毎年6月開催  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
単元株式数 100株  
上場証券取引所 大阪証券取引所  
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (http://www.jt-corp.co.jp/) に掲載いたします。  
なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **8508**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を呈呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。



20000882(03)  
JIS015001:2006準拠

# JTRUST IR

株主・投資家の皆様へ  
第36期 中間報告書  
平成23年4月1日▶平成23年9月30日

 **JTRUST**  
ジェイトラスト  
証券コード: 8508

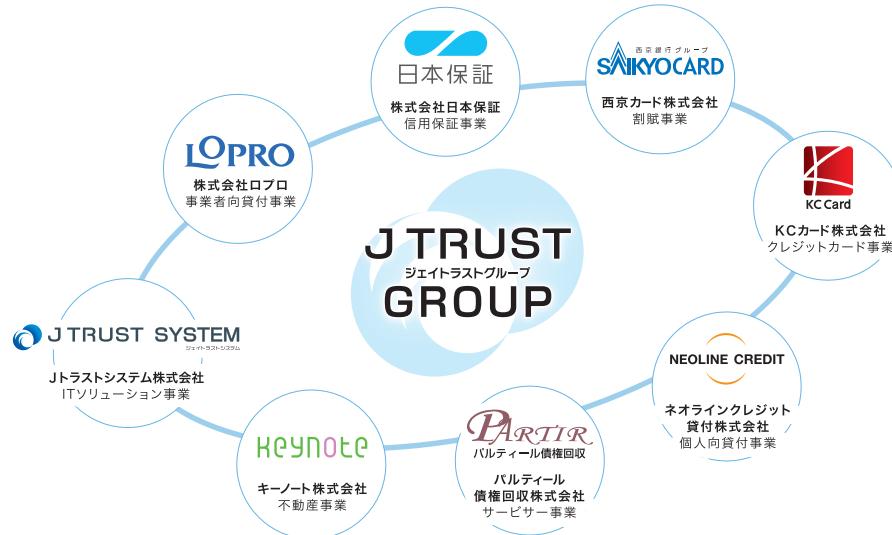
## 企業理念

お客様のため、株主様のため、私たち自身のため、  
いかなる時も迅速に、誠実にチャレンジし続け、  
皆様と共に日本の未来を創造いたします。

## 行動理念

私たちは企業理念を実践するために  
「J・T・R・U・S・T」を念頭に行動いたします。

J : Justice	公正な企業経営を行います。
T : Teamwork	経営の根幹である『人』の個性を活かした組織を作ります。
R : Revolution	常に革新志向で価値創造を行います。
U : Unique	当社の独自性を大切にします。
S : Safety	お客様、ステークホルダーの皆様へ安心していただけるよう努めます。
T : Thankful	感謝の気持ちを忘れません。



## ごあいさつ

For Stockholders

株主並びに投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

この度、当社第36期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間報告書「Jトラスト・IR」をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期は、8月に「KCカード株式会社」をグループに加え、新たにクレジットカード事業への参入を果たし、グループでの資産規模は大幅に増加しました。また、グループの更なる成長と安定した収益基盤の構築を目指し、信用保証業務拡充等の各種戦略を実行することに加え、韓国での消費者金融事業を開始し、海外での事業展開にも積極的に取り組んでまいりました。

今後につきましては、環境の変化に迅速且つ柔軟に対応するとともにあらゆる可能性にチャレンジし、事業の選択と集中を推進することで、より高い投資効率を目指して取り組んでまいります。

今後も全役職員とともに、お客様、株主の皆様、お取引先様、当社を支えていただいている皆様に信頼され貢献できるよう、より質の高いサービスの提供ができるJトラストグループを目標に取り組んでまいりますので、何卒、倍旧のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役社長 藤澤 信義

## Q 当期の経営環境と事業の成果について お聞かせください

A 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による国内経済の停滞は回復基調にあるものの、電力供給不足問題や風評被害、円高・株安等の影響による市場の低迷が続いており、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する貸金業界においても、改正貸金業法の完全施行の影響によるマーケットの縮小や、利息返還請求の高止まり、及び資金調達環境の悪化等により事業の縮小や廃業が相次ぐなど厳しい経営環境が続いております。また、不動産業界におきましても、東日本大震災の影響により住宅建設が一部遅延する等一時停滞の状況にありましたが、サプライチェーンの正常化

や政府による住宅に関連する景気刺激策等の後押しもあり、緩やかな回復基調にあります。

このような経営環境を踏まえ、当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは、第1四半期会計期間に韓国の消費者金融会社であるネオラインクレジット貸付株式会社の全株式を取得し海外市場へ進出したことに引き続き、当第2四半期会計期間において、楽天株式会社からKCカード株式会社(旧 楽天KC株式会社)の株式を取得しクレジットカード事業へ参入いたしました。今後は、同社が有するノウハウを活用しクレジットカード事業を展開していくとともに、保有資産の有効活用や顧客基盤を活かした保証事業の強化等を通じて、当社グループの企業価値の向上に努めてまいります。

信用保証業務につきましては、株式会社西京銀行との間で、新たに事業者向け有担保ローンに関する保証業務契約を締結するなど、債務保証残高の積み上げを図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、KCカード株式会社のクレジットカード事業収益を加算したことにより10,106百万円(前年同四半期比18.6%増)となりました。しかしながら、営業利益はグループの規模拡大に伴い販売費及び一般管理費が前年同四半期比66.6%増加したこと等により1,957百万円(前年同四半期比29.4%減)となり、また、経常利益は急激な円高、ウォン安による為替差損を計上したことにより1,288百万円(前年同四半期比53.6%減)となりました。四半期純利益は、KCカード株式会社の株式取得に

係る時価評価の結果、負ののれん発生益29,444百万円を特別利益に計上したことにより30,306百万円(前年同四半期は1,954百万円)となりました。

## Q 株主様へメッセージをお願いします

A 当社は、株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の最重要施策のひとつとして認識し、将来の経営環境や業界動向を総合的に勘案しながら、積極的な利益還元を図ることを基本方針としております。

平成24年3月期につきましては、中間配当について1株当たり6円、期末配当金(1株当たり6円)を加えた年間配当金は、1株当たり12円を計画しております。

## 財務ハイライト(連結)

営業収益



経常利益



(注)第36期は、グループの規模拡大に伴い販売費及び一般管理費が前年同期に比べ増加しており、また、為替差損を734百万円計上した結果、前年同期に比べ減少しております。

四半期(当期)純利益

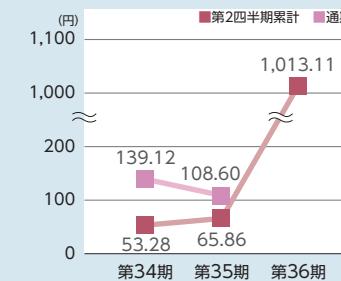


(注)第36期は、KCカード株式を連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益29,444百万円を計上しております。

融資残高



EPS(1株当たり四半期(当期)純利益)



ROE(自己資本四半期(当期)純利益率)



### ■ セグメントの業績

事業の種類別の概要は次のとおりです。

#### 1. 金融事業

(事業者向貸付業務)

主に株式会社ロプロにおいて取り扱っております。金融事業における中長期的な戦略として商業手形割引の推進を行った結果、商業手形の融資残高は順調に増加しておりますが、営業貸付金につきましては、回収が順調に進んだ結果減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における融資残高は、商業手形では2,060百万円(前年同四半期比36.7%増)、営業貸付金では2,212百万円(前年同四半期比27.6%減)、長期営業債権(25百万円)を含めた融資残高の合計は4,297百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

(消費者向貸付業務)

株式会社ロプロ及び西京カード株式会社において取り扱っております。

当第2四半期連結会計期間末における融資残高は、回収が順調に進んだ結果、営業貸付金では7,106百万円(前年同四半期比41.7%減)、長期営業債権(1,708百万円)を含めた融資残高の合計は8,814百万円(前年同四半期比41.1%減)となりました。

(クレジット・信販業務)

クレジットカード業務につきましては、当第2四半期連結会計期間にKCカード株式会社を連結子会社としたことにより、前身の国内信販株式会社から続くKCカードのブランド力と豊富なノウハウを活用したクレジットカード事業を展開しております。また、信販業務につきましては、株式会社ロプロ及び西京カード株式会社において割賦販売による信販業務を取り扱っております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における割賦立替金残高は、80,831百万円(前年同四半期は2,502百万円)、長期営業債権(8,704百万円)を含めた割賦立替金残高の合計は89,535百万円(前年同四半期は2,541百万円)となりました。

(信用保証業務)

主に株式会社日本保証、株式会社ロプロ及びKCカード株式会社において取り扱っております。中長期的な戦略として信用保証業務の拡充を推進しており、株式会社西京銀行及び株式会社東京スター銀行の貸付に対する保証を中心に債務保証残高の積み上げを図りました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における債務保証残高は、有担保貸付に対する保証では8,076百万円(前年同四半期比152.0%増)、無担保貸付に対する保証では4,854百万円(前年同四半期比5.1%減)となり、債務保証残高の合計は12,930百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

(債権買取業務)

当社、株式会社ロプロ、パルティール債権回収株式会社、合同会社パル

ティール及び合同会社パルティール・ワンにおいて取り扱っております。中長期的な戦略として、新たな債権についても積極的に買取を行っておりますが、買取債権の回収がそれを上回って推移しているため、当第2四半期連結会計期間末における買取債権残高は3,000百万円(前年同四半期比36.0%減)となりました。

以上の結果、金融事業における営業収益は8,106百万円(前年同四半期比16.4%増)、セグメント利益は2,022百万円(前年同四半期比21.5%減)となりました。

#### 2. 不動産事業

キーノート株式会社を中心に事業を展開しており、金融事業とのシナジーを活かしながら、建売住宅の販売・仲介だけでなく、注文住宅建設事業及び中古住宅のリノベーションなど、住宅関連ビジネスにより収益化を図っております。

以上の結果、不動産事業における営業収益は1,157百万円(前年同四半期比14.4%減)、セグメント利益は60百万円(前年同四半期比74.3%減)となりました。

#### 3. 海外事業

韓国において、ネオラインクレジット貸付株式会社が消費者金融事業を展開しており、韓国ソウル特別市を中心に、大田、大邱に支店を開設するなど成長する韓国消費者金融市場で着実に融資残高を伸ばし業務の拡大を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における営業貸付金は4,842百万円となり、海外事業における営業収益は906百万円、セグメント利益は103百万円となりました。なお、当該連結子会社については、第1四半期連結会計期間における株式取得のため、前年同四半期比較をしておりません。

#### 4. その他の事業

Jトラストシステム株式会社において主に当社グループのシステム開発、コンピュータの運用及び管理業務を行っております。

以上の結果、その他の事業における営業収益は453百万円(前年同四半期比11.0%増)、セグメント利益は60百万円(前年同四半期比97.7%増)となりました。

#### (セグメントの売上高構成比)

1. 金融事業	76.3%	8,106百万円
2. 不動産事業	10.9%	1,157百万円
3. 海外事業	8.5%	906百万円
4. その他の事業	4.3%	453百万円

### TOPICS

## 1

### KCカード株式会社がグループに加わりました。

Jトラストは平成23年8月KCカード株式会社をグループ化し、クレジットカード事業へ参入いたしました。そしてクレジットカード事業のみならず、同社の有する顧客基盤を活用した信用保証事業や他事業とのシナジー効果を発揮させることにより、総合金融グループへの更なるステップアップを果たしました。

KCカード株式会社は、国内信販株式会社時代から有するノウハウと、Jトラストグループが有する各種サービスを連携させることで、新サービス・新商品を開発し、これまで以上の付加価値をお客様に提案し、上質で快適なサービスを提供します。

KCカード株式会社は平成23年8月より「日本を元気にするカード“新”KCカード誕生」を掲げ、お客様にご満足いただけるクレジットカードを目指して、様々な取り組みを実施しています。お客様への新たなメリットとして「P割サービス」「携帯ポイント交換サービス」「ANAマイル交換サービス」「楽天スーパーポイント交換サービス」など、ポイント制度を充実させたほか、日本ユニセフ協会、日本盲導犬協会などへカードポイントを寄付できるサービスもスタートしました。



KC Card



### TOPICS

## 2

### ネオラインクレジット貸付株式会社の全株式を取得し韓国市場に進出しました。

日本国内にとどまらず、グローバル化を推進するJトラストは、平成23年4月韓国の消費者金融会社「ネオラインクレジット貸付株式会社」の全株式を取得し韓国市場に進出しました。Jトラストグループがこれまで蓄積した金融サービスのノウハウと信用力を活かすことで、平成23年9月の貸付残高は48億円(742億ウォン)まで成長しています。韓国消費者金融市場は、銀行を含め保険会社、カード会社、貯蓄銀行、貸付業の順に、高信用者から低信用者を対象に市場を分割占有している状態です。貸付業者の貸付対象は753万人ほど存在し、現在の貸付業界の顧客は167万人と韓国市場の拡大余力が残っており、経営資源を投下して更なる拡大を図ります。



### TOPICS

## 3

### 日経IRフェア2011に出席しました。

平成23年8月26日、27日に東京ビッグサイトにおいて開催された「日経IRフェア2011」に参加いたしました。

両日において13,780名が来場され、当社ブースにも多くのお客様にお越しいただきました。



# 四半期連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### ▶ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>				
流動資産		116,024	33,606	34,293
現金及び預金		17,159	9,575	14,846
商業手形		2,060	1,507	1,900
営業貸付金		14,160	15,247	11,725
① 割賦立替金		80,831	2,502	1,443
買取債権		3,000	4,688	4,008
商品及び製品		1,133	580	412
仕掛品		39	213	153
その他		4,786	1,800	1,640
① 貸倒引当金		△ 7,147	△ 2,508	△ 1,836
固定資産		8,798	3,372	3,569
(有形固定資産)		(5,394)	(1,506)	(1,166)
(無形固定資産)		(498)	(506)	(455)
(投資その他の資産)		(2,906)	(1,359)	(1,947)
投資有価証券		515	559	547
① 長期営業債権		10,437	2,843	2,286
その他		1,350	632	495
① 貸倒引当金		△ 9,396	△ 2,675	△ 1,382
資産合計		124,823	36,979	37,862

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	期別	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
<b>負債の部</b>				
流動負債		54,863	9,824	10,264
割引手形		1,573	804	1,291
② 短期借入金		18,391	2,758	2,465
一年以内返済予定長期借入金		1,805	1,231	1,515
③ 未払金		19,407	262	304
① 利息返還損失引当金		11,804	3,661	3,359
その他		1,881	1,106	1,327
固定負債		24,689	14,369	13,635
長期借入金		12,888	10,883	10,814
① 利息返還損失引当金		11,002	2,876	2,382
債務保証損失引当金		180	254	203
その他		617	355	234
負債合計		79,553	24,193	23,900
<b>純資産の部</b>				
株主資本		44,024	12,723	13,889
資本金		4,500	4,492	4,496
資本剰余金		2,234	2,227	2,230
④ 利益剰余金		37,362	6,075	7,235
自己株式		△ 72	△ 72	△ 72
その他の包括利益累計額		△ 55	6	5
その他有価証券評価差額金		4	6	5
為替換算調整勘定		△ 59	—	—
新株予約権		79	34	52
少数株主持分		1,222	20	14
純資産合計		45,270	12,785	13,961
負債純資産合計		124,823	36,979	37,862

### ▶ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
① 営業収益		10,106	8,522	16,908
営業費用		1,938	2,021	5,132
営業総利益		8,168	6,500	11,776
② 販売費及び一般管理費		6,210	3,726	7,451
営業利益		1,957	2,773	4,324
営業外収益		86	20	44
③ 営業外費用		756	17	45
経常利益		1,288	2,776	4,323
④ 特別利益		29,467	12	385
特別損失		34	47	94
税金等調整前四半期 (当期)純利益		30,721	2,741	4,614
法人税、住民税及び事業税		529	796	1,356
法人税等調整額		△ 147	△ 23	15
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益		30,339	1,969	3,241
少数株主利益		32	14	8
四半期(当期)純利益		30,306	1,954	3,233

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 17,233	4,523	9,234
投資活動による キャッシュ・フロー		3,910	△ 411	△ 310
財務活動による キャッシュ・フロー		15,897	△ 1,204	△ 908
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△ 17	—	—
現金及び現金同等物の 増加		2,557	2,907	8,016
現金及び現金同等物の 期首残高		14,148	6,131	6,131
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		16,705	9,039	14,148

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### POINT 1

平成23年8月1日にKCカード㈱を連結子会社としたことに伴い、割賦立替金が79,798百万円、長期営業債権が8,678百万円、貸倒引当金が13,933百万円、利息返還損失引当金が17,629百万円それぞれ増加しております。

#### POINT 2

当社筆頭株主並びに当社代表取締役社長である藤澤信義から15,000百万円の借入を行っております。

#### POINT 3

楽天㈱からKCカード㈱への貸付金を37,000百万円で譲り受け、当該譲受対価に係る未払金17,005百万円を計上しているため、前期末に比べ大幅に増加しております。

#### POINT 4

KCカード㈱を連結子会社としたことに伴い、負のれん発生益29,444百万円を特別利益に計上したため、前期末に比べ大幅に増加しております。

#### POINT 1

連結の範囲変更に伴い、ネオラインクレジット貸付㈱が906百万円、KCカード㈱が2,591百万円計上しております。

#### POINT 2

連結の範囲変更に伴い、前年同期に比べ2,483百万円増加しております。

#### POINT 3

為替差損を734百万円計上しております。

#### POINT 4

KCカード㈱を連結子会社としたことに伴い、負のれん発生益29,444百万円を計上しております。

株式の状況

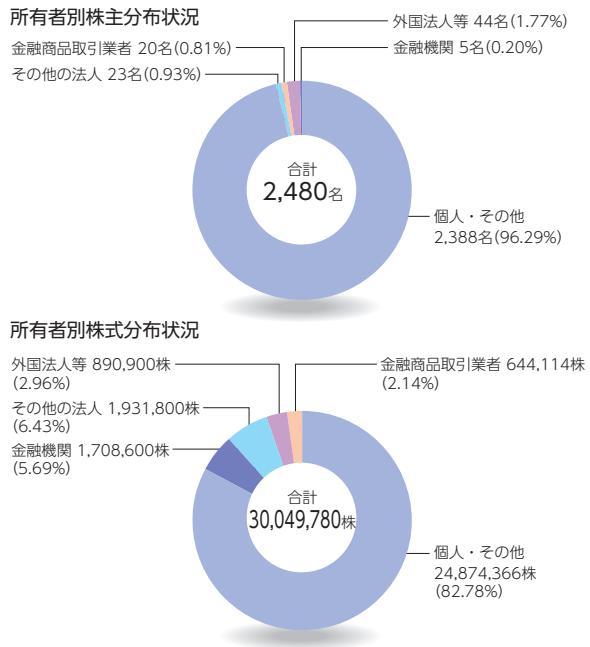
発行可能株式総数 70,000,000 株  
 発行済株式の総数 30,049,780 株  
 株主数 2,480 名

大株主(上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
藤澤信義	14,710,000	49.1
株式会社西京銀行	1,400,000	4.7
株式会社整理回収機構	1,320,000	4.4
レスポール投資事業有限責任組合 無限責任組合員 合同会社レスポール	1,249,600	4.2
株式会社SBI証券	264,600	0.9
大阪証券金融株式会社	264,400	0.9
渡部真佐男	245,000	0.8
株式会社日本ロビーイングストリアル	210,300	0.7
吉田岳司	200,000	0.7
株式会社関東信販	200,000	0.7

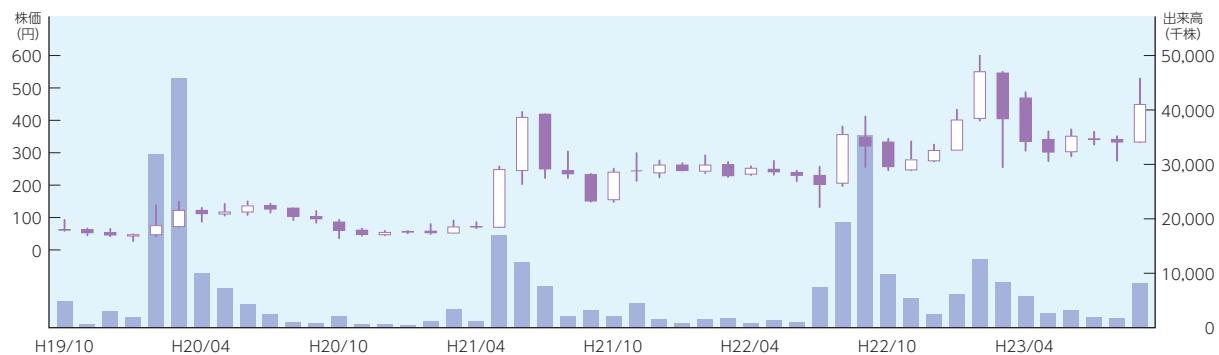
(注) 1. 持株比率は、自己株式数(114,786株)を控除して算出しております。  
 2. ㈱整理回収機構は、当社の株主であった日本振興銀行(㈱)より資産を買取ったことにより、平成23年9月30日現在、当社の株主となっております。

株式分布状況



株価の推移

(平成19年10月から平成23年9月まで)



会社の概要

商号 Jトラスト株式会社  
 資本金 45億円  
 設立 昭和52年3月  
 本店所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号  
 電話番号 03-4330-9100  
 事業内容 ホールディング業務、債権買取業務  
 営業所 大阪支店  
 従業員数 34名

(注) 従業員数は就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含みます。)であります。

役員

代表取締役社長 藤澤信義  
 代表取締役副社長 千葉信育  
 取締役 橋本泰  
 取締役 岡本隆男  
 取締役 黒田一紀  
 取締役 持田幸啓  
 取締役 三吉誠  
 取締役 西川幸宏  
 取締役 黒川真  
 取締役 西範行  
 常勤監査役 尾崎忠夫  
 常勤監査役 大西真夫  
 監査役 内藤欣也  
 監査役 坪内隆  
 監査役 内野正昭

(注) 1. 取締役 西範行氏は社外取締役であります。  
 2. 監査役 内藤欣也、坪内隆、内野正昭の3氏は、社外監査役であります。

Web Information

www.jt-corp.co.jp

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。